

基本目標（3）

**「まなび」の根っこを
しっかりと大地へ下ろし、
芽を大樹のように
育てていこう！**



目標 ① まちへの愛着と誇りを高めていこう！



★ この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◇ 地域資源（歴史、文化、伝統、産業、景観など）の掘り起こしが活発に行われ、市民の共有財産という意識や継承・活用に向けた機運が高まっています。
- ◇ 市民の手によって地域資源に磨きがかけられ、高浜市の“自慢”が増えています。
- ◇ 「高浜市が好き」という市民が増えています。

★ 目標達成に向けての考え方

高浜市のことを知ることが、高浜市への愛着と誇りを高める第一歩です。また、愛着や誇りは、まちづくりに関わることから芽生えます。市民の手で「高浜市のよいところ探し」が行われ、高浜市の自慢として魅力に磨きをかけたり、市内外に発信するなど、まちづくりに活かしていくことが大切です。

- ◇ 地域資源（歴史・伝統・文化・産業・景観）を掘り起こし、先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢を知り、守り、伝え、活かしていく活動を強化していくことが重要です。
- ◇ 地域の祭りや伝統文化に関する行事など、地域資源との出逢いの機会を積極的に創り出していくこととともに、次の世代に伝えていく過程の中で、それらに対する意識・関心が高まるような工夫を凝らしていくことが大切です。
- ◇ 文化財等を適切に保存・活用するとともに、後継者育成に努めていくことが大切です。

みんなで力を合わせて進めていこう！ ～それぞれの役割～

市民

- 地域の祭りや伝統文化に関する行事などに参加しよう。
- 地域資源について知っている情報を提供したり、自ら調べてみよう。

地域活動等

- 地域資源に対する関心を高め、掘り起こし、磨きをかける取組みを進めよう。
- 情報を提供しあおう。
- 後継者を発掘し、育成しよう。

関係機関・団体

- 地域資源に対する関心を高め、掘り起こし、磨きをかける取組みを進めよう。
- 情報を提供しあおう。
- 後継者を発掘し、育成しよう。

行政

- 多様な主体と連携・協力しながら、まちの自慢を掘り起こし、守り、伝え、活かす活動を強化します。
- 文化財の保護・活用を進めます。

★ こんなことに取り組んでいきます！

- ◇ 「タカハマ！まるごと宝箱」事業やかかわら美術館における事業・活動などを通して、市民・地域・団体・事業者・関係機関とともに、地域資源（歴史・文化・伝統・産業・景観など）を掘り起こし、触れる機会を創出し、まちの魅力・自慢に対する市民の興味・関心、「もっと知りたい」「調べてみたい」という意欲を高めていきます。
- ◇ 新たな「高浜市誌」の編さんを市民・地域・団体・関係機関・学識経験者やなどと連携・協力しながら進め、散逸・消失の恐れがある資料や人々の中にある記憶を記録化する取組みを進め、今を生きる市民や将来の市民へ伝えていきます。
- ◇ 文化財の調査や適切な保護・保存・活用などを推進するとともに、継承に向けて、団体・地域などと連携・協力しながら、市民の興味・関心を高め、後継者の発掘・育成につなげる取組みを進めます。

鬼みちまつり(鬼あかり展示)



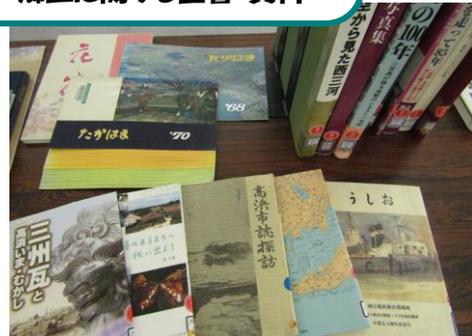
市無形文化財「菊人形づくり」



高浜市誌の編さん(聞き書き)



郷土に関する図書・資料



目標 ② まなびの成果や地域の個性をまちづくりに活かしていこう！



★ この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◇ 「誰かのために役立ちたい」「住んでいるまちをよりよくしたい」といった想いを持ち、行動する市民が増えています。
- ◇ 先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢が市民の共有財産として継承され、まちづくりに活かされています。
- ◇ 市民の市政運営への参加・参画機会や協働で取り組む事業が増えるなど、市民が主役のまちづくりが進められています。
- ◇ 市民、団体、学校などの教育機関、地域、企業、生涯学習施設、行政など、多様な主体がつながりあいながら、まなびに関する活動が行われています。

★ 目標達成に向けての考え方

まなびは、人づくりやまちづくりの土台となるものです。一人ひとりが積み重ねてきたまなびの成果を結集させ、まちを切り拓いていくパワーに変えていくため、まなびに関わる者同士の連携・協力関係を築いていくとともに、地域の個性や創意工夫を活かした多様なまちづくりの実践を支援していくことが重要です。

- ◇ 子どもからお年寄りまで、団体や企業なども含め、一人ひとりが持っている力を伸ばし、高浜市づくりのために出し合い、みんなで高浜市を支えていくという意識・動きを広げていくことが重要です。
- ◇ まちに多様性を生み、成長・発展に向けてのエネルギーとしていくため、地域の個性を活かしたまちづくりを進めていくことが大切です。
- ◇ まなびの成果を市政運営に活かすことができるよう、参加・参画機会の創出や協働事業を進めていくことが重要です。
- ◇ 市民の「学びたい」「活動したい」という想いを応援するため、まなびを支える仕組み・体制づくりを進めていくことが大切です。

みんなで力を合わせて進めていこう！ ～それぞれの役割～

市民

- 持っている力（知恵・特技・経験など）を出し合おう。

地域活動等

- 個々の力を高めるとともに、各主体と連携・協力することにより大きなエネルギーに変えていこう。

関係機関・団体

- 個々の力を高めるとともに、各主体と連携・協力することにより大きなエネルギーに変えていこう。

行政

- まなびを支える仕組み・体制づくりを進めます。

★ こんなことに取り組んでいきます！

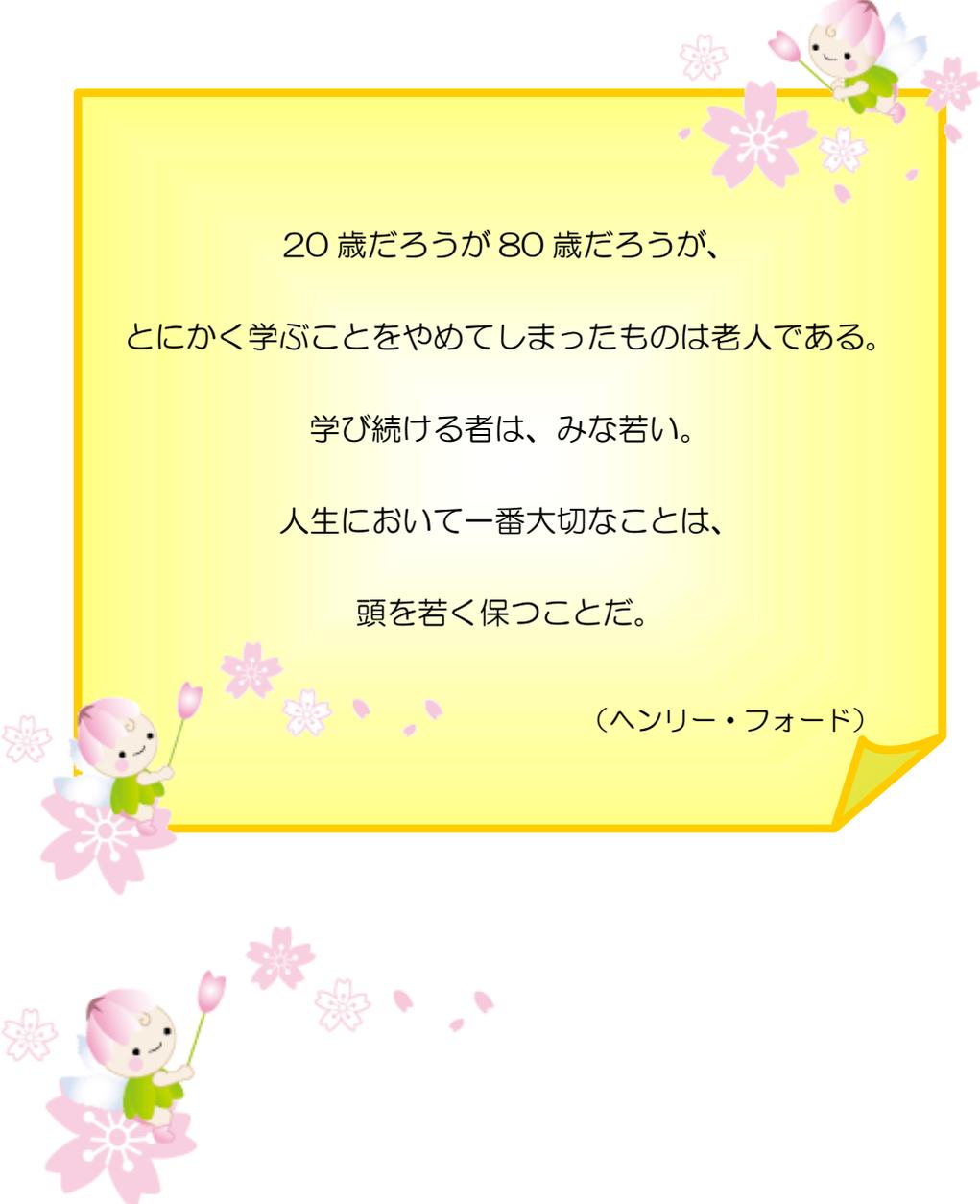
- ◇ 様々な事業・行事・活動を通じて、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を高める機会を創出していきます。
- ◇ 市民の自主的・自発的な、地域の課題に対応したまちづくり、地域の個性を活かしたまちづくりを応援していきます。
- ◇ まちづくりの基本原則「参画・協働・情報共有の原則」に基づき、市政運営への参加・参画機会の創出や協働事業の推進など、市が抱える課題や今後の方向性を市民・団体などと共有し、将来を見据えながら、ともに力を合わせて高浜市づくりを進めます。
- ◇ 様々な分野の取組みをまなびという視点で横串を通し、関連付け・体系化するとともに、事業・人材の掘り起こし、情報の収集・発信、多様な主体がつながりあう場の創出など、まなびを支える仕組み・体制づくりを進めます。

自治基本条例出前授業



たかはま未来カフェ





20 歳だろうが 80 歳だろうが、
とにかく学ぶことをやめてしまったものは老人である。

学び続ける者は、みな若い。

人生において一番大切なことは、

頭を若く保つことだ。

（ヘンリー・フォード）